

2024 年を早稲田サークル文化の飛躍と発展の年にしよう！

2・1 文連総会に集まろう！

4 月新歓活動を成功させよう！ サークルどうしが協力し創意工夫して盛りあげよう！
物価上昇分を上回るサークル補助金の大幅増額をかちとろう！ 来年度の超大幅学費値上げに反対しよう！
能登半島地震の被災者を全力で支援しよう！ 被災した学生への経済的支援を求めよう！
老朽化したサークル活動施設・備品の改修・修繕を求めよう！
サークルの諸権利を守り・発展させるために早稲田唯一のサークル連合体・文連を強化しよう！

文化団体連合会常任委員会
(090-2331-4456 文連臨時事務所：学生会館 E 839)

文連常任委員会は、1 月 1 日に発生した能登半島地震と津波によって犠牲になられた方々に対しお悔やみを申し上げます。そして被災されたすべての方々に心からお見舞いを申し上げます。

いま、北陸をはじめとして被災された方々は、厳しい寒さと余震、食料や水などの物資、燃料の不足といった大変な状況を支えあって耐えています。そして、自らも被災した自治体職員や医療・介護職員が、家屋の倒壊や津波から逃れてきた人々の救援や医療・生活支援の活動に昼夜を分かたず尽力しています。

感染症の拡大や避難生活の長期化による健康被害といった状況を回避し、一刻も早く現状を打開することが求められているときに、生活物資の支援、医療や住居の保障、通信網などの生活インフラの復旧などすべてにわたり遅滞しきった対応に終始している岸田政権にたいする怒りは、日に日に高まっています。

みなさん、私たち早稲田の学生は、被災した方々を全力で、あらゆるかたちで支援しましょう！ 被災したすべての方々に対する経済的支援や生活の保障を政府に対して求めよう！

私たちは、早大をはじめ社会的に呼びかけられるボランティア活動や義援金募金などの支援活動にも協力していきましょう！ 被災して学生生活が困難になっている学生や、北陸地方出身の早大生のために力を合わせましょう！

秋冬期のサークル活動の意義をうちかため、本 2024 年、早稲田サークル文化のさらなる飛躍と発展をきりひらこう！

文連加盟サークルのみなさん！ 私たちは、2023 年秋冬期をつうじて芸術活動や学問研究に全力で打ち込み・蓄えた力を発揮して、サークル文化活動を前進させてきました。多くのサークルが、日々の練習や研究に加えて、サークル内のミーティングや活動場所の確保といった運営上のさまざまな活動を、仲間と連携してとりくんできたと思います。大変ご苦労様です。こうした活動の成果を研究発表会や音楽演奏会、演劇公演などの文化企画として実現したサークルも数多くあります。各サークルが発展・深化させてきたサークル活動の実りゆたかな地平を誇りをもって確認していきましょう！

秋冬期をつうじて培った力とサークルの結束を原動力に

して、本 2024 年をサークル活動のいっそうの飛躍と発展の年にしようではありませんか！

来たる 4 月には新入生を迎えます。私たちの文化サークル活動の素晴らしさややりがいをどしどし伝え、たくさん
の新入生を各サークルに獲得しよう！

サークル新歓活動を大成功させよう！ 例年どおりの新歓ブース設置を当局・学生部に認めさせよう！ ビラまき
勧誘活動スペースの保障を求めよう！

サークルの協同した力で来たる新歓活動期間を大いにもりあげましょう！

私たち文連加盟サークルを先頭にして、早稲田のサークル文化活動を守り抜き・学生文化を活発につくりだしている一方で、社会全体における文化活動は、困難な状況に直面しています。とくに、光熱費などの高騰や新型コロナの感染拡大による入場料などの収入減少による財政の逼迫、施設・設備の老朽化の問題は深刻です。

昨 2023 年だけでも、日本の映画、演劇文化の発展を牽引してきた伝統ある映画館や劇場の相次ぐ閉鎖、日本の自然科学研究を支える国立科学博物館が運営資金の危機的状況を訴えたことは、記憶に新しいところです。このような状況に多くの文化人や研究者が、政府の文化事業への公的支援が諸外国に比しても貧弱すぎると切実な声をあげています。

サークル活動をつうじて文化創造に携わる私たちは、今こそ、学生らしい文化創造のエネルギーを発揮して低迷する文化状況を打ち破っていきましょう！ 早稲田の先輩たちがつねにそうであったように、既成の枠にとらわれない創造性や、権威や権力に流されたりおもねたりしない批判精神にみなぎった芸術表現や学問研究に、私たちはさらに力強くとりくもう！



昨年 4 月、早稲田キャンパスの新歓活動風景。2024 年度も大成功させよう！

サークル補助金の大幅増額を求めよう！ 来年度の超大幅学費値上げに反対しよう！

こんにちの物価高騰は、私たちが2024年度もさらにサークル活動を活発に行なっていく上でとても深刻な問題です。昨年から今年にかけて、木材や塗料、文房具から交通費などサークル活動に必要なものが値上がりしています。多くのサークルが工夫や節約をして活動していますが、経済的負担は増えるいっぽうでとても大変です。経済的理由でサークル活動を断念する学生が増えたり、サークル活動の規模縮小や質の低下を招いたりすることがあってはなりません！

物価は上がり続けているのにもかかわらず、大学当局・学生部はじつに20年以上にわたり、サークル補助金額の上限を一度も増額していません。これでは早稲田サークル文化を発展させることはできません！ 私たちは物価上昇分を上回るサークル補助金の大幅な増額を求めましょう！

さらに問題なのは、物価高や光熱費の値上げが多くの早大生の家計を直撃しているもとの、大学当局・理事会が来年度入学生から学費を4年間総額で32～55.2万円もの引き上げを決定したことです。ただでさえ全国私大の中でもトップレベルの早大の高学費が、こんご学生や父母の負担をさらに大きくし、休学や退学を余儀なくされる学生が増えかねません。こんな学生生活の破壊を絶対に許してはなりません！ 来年度の超大幅学費値上げに反対しよう！ 能登半島地震で被災した学生に対して、また必要とするすべての学生に対する学費減免や経済支援の拡充を求めていきましょう！

サークル活動施設・備品の拡充・修繕を求めよう！

現状のサークル数や活動の活発さに比して、大人数が収容できる会議室や音楽・演劇練習室などが圧倒的に不足しています。そのため外部の有料施設を利用せざるをえず、費用の負担増に苦心しているサークルも少なくありません。

私たちは、早稲田キャンパスの教室貸し出しのさらなる拡充を求めよう！ 外部の有料施設を利用したサークル活動に対する特別援助などの財政的支援を求めていこう！

さらに、より充実したサークル活動を行なうために、学生会館をはじめとした老朽化したサークル活動施設や備品について、学生の要望にもとづく改修や買い替え、修繕を行なうよう求めていきましょう！

「言論・表現の自由」や「平和主義」を否定する憲法改悪に反対する声をサークルからあげよう！

私たちがサークル活動を行なううえでなくてはならない「言論・表現の自由」や「平和主義」を否定する動きを見過ごすことはできません。岸田政権・自民党は「裏金」にまみれながらこのたびの大地震を利用して、「緊急時」にいったいの基本的人権を制限することのできる権限を首相にあた

える「緊急事態条項」の創設と、「戦争放棄」をさだめた憲法九条の改悪を核心とした改憲への意欲を、年頭から会見で言明しています。こうしたファシズム的な動きに対して警鐘を鳴らしている文化人・知識人と連帯して、私たちも改憲反対の声をサークルからあげていきましょう。

サークルの諸権利を守り・発展させるために、サークル連合体・文連の団結を強化しよう！ 文連総会に集まろう！

サークル員のみなさん！ 私たちは、来たる4月のサークル新歓活動を成功させ、早稲田サークル文化の前進をきりひらくために、規模やジャンルのちがいをこえてサークルが文連のもとに団結を強めよう！

岸田政権・文科省は昨年（12/13）に国立大学法人法を改悪し、大学の教育・研究方針や人事などの運営への介入・統制を強めています。大学を政府・文科省の意向に沿った軍事研究・国策研究の拠点へとつくりかえ、これに反対する教職員や研究者、学生自治団体を大学から排除する圧力をかけているのです。愛知大学では、文科省の指導を受けた大学当局が、ウクライナ反戦デモに参加した自治会役員を退学処分にしたたり、学生自治会そのものを「非公認」化したりしています。ウクライナやガザでの戦争の問題などを批判的に研究してきたサークルに対しては「無期限の活動停止」を通告してもいます。

大学において開始されたこのような治安維持法をほうふつとさせるファシズム的な策動に対して、愛知大学をはじめとする全国の大学で、学生が自治会やサークル連合体のもとに団結し反撃にたちあがっています。そして学生・教職員の分断を許さず、学生・サークルの諸権利を守り抜いているのです。私たち早稲田の学生も全国の学生と連帯し、早稲田サークル文化を守り・いっそう発展させるために団結しよう！ 2月1日文連総会に集まり、活発に討論をつくりだそう！ みなさんともがんばりましょう！

(2024年1月15日)

2023年度後期定例 文連総会

2月1日（木）

16:45 開場 17:00 開会
学生会館 W406・407 会議室

文連加盟サークルの幹事の方は必ず
出席してください。